

# 小学校第3学年 国語科学習指導案

2020年10月13日(火) 6校時  
 四万十市立西土佐小学校 19名  
 指導者 長山 直史

1 単元名 「オリンピック・パラリンピックって何だろう? 分かりやすく1・2年生に伝えよう」(全12時間)  
 学習材 「パラリンピックが目指すもの」(東京書籍3年)

## 2 単元について

### 育てたい資質能力

- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する力 【思・判・表C(1)ウ】
- 必要な語句などの書き留め方、出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解して使う力 【知識・技能(2)イ】
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、自分の思いや考えを伝え合おうとする力 【学びに向かう力、人間性等】

### この単元で働かせたい見方・考え方

目的に合った中心となる語や文に着目し、要約する。要約する文章が適切か(引用する文が適切か、分かりやすい言葉に変えられないか言葉は補えないか)を吟味する。

### 言語活動

### 教材の価値

### 児童観

### 指導観

### 学習後に期待する児童の姿

### 単元末に期待する姿

### 他教科や今後の生活との期待できるつながり

- 1・2年生に分かりやすい言葉や文を選び、要約した文章を使ってオリンピック・パラリンピックについて説明することができる。
- 図書資料などを使用し、まとめた文章に正しく出典を示すことができる。

- 特別活動での話し合いや日常会話において、大事な言葉を使って簡潔に話したり、要点に気を付けて聞いたりすることができる。
- 総合的な学習の時間や社会の時間で学んだことを、新聞にまとめる時に必要な言葉や情報を吟味できる。

## 3 単元目標

- 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約することができる。 【思・判・表C(1)ウ】
- 必要な語句などの書き留め方、出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解して使うことができる。 【知識・技能(2)イ】
- 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、自分の思いや考えを伝え合おうとすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】

## 4 単元の評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・必要な語句などの書き留め方、出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解して使っている。 【知識・技能(2)イ】	・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 【思・判・表C(1)ウ】	・より良い言葉を選んで、中心となる語や文を見付けて要約したり、進んで事典や図鑑などから情報を得たり説明したりしようとしている。 【主】

## 5 研究主題との関連

### 自ら学び、かかわり合い、自分の思いを表現できる児童の育成

#### ～言語活動の工夫と情報活用の充実を目指して～

研究主題に迫るために、「オリンピック・パラリンピックって何だろう? 分かりやすく1・2年生に伝えよう」という言語活動を設定した。3年生が主体的に低学年の立場に立って考えさせることで、学習への必要感を高める。目的意識を常に確認することで、自分から情報を得たり、友だちにとって分かりやすい文章になっているかどうか話し合ったりする姿を目指す。

## 6 単元計画

次	時	○学習内容 ・学習活動	評価規準
			評価規準(評価方法)
1	1	○知りたいこと疑問に思ったことを出し合い、自分の調べる課題を持つ ・様々な資料を読み、調べてみたいことを考える。 ・読んでみての感想を交流する。	
	2	○学習の目標や言語活動の内容について理解する。 ・教材文を読み、感想を書く。 ・言語活動のモデルを知り、学習をする上で身に付けたい力や、必要だと感じた学習について話し合う。	
2	5 3・4(本時)	○それぞれの段落の大事な語や文を見付けて要約し、適切かどうか話し合う。 ・要約の仕方をおさえる ・段落ごとの大事な言葉を捉える。 ・段落の内容を短い言葉で書き、それぞれの文章について意見交流する。	・読むことにおいて、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。(ノート・発言) 【思・判・表C(1)ウ】
	6	○オリンピック・パラリンピックについて1・2年生に伝えたいことを考え調べるテーマを考える。 ・もっと知りたいことや、伝えたいことを発表する。 ・話し合いから詳しく調べることを決める。	・必要な語句などの書き留め方、出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解して使っている。(行動観察・ノート) 【知識・技能(2)イ】
	7・8	○本や資料から知りたいことを見付け情報を集める。 ・自分の知りたい事が書かれているページに付箋を貼ったり、メモを取ったりして情報を集める。 ・分かったことや考えたことをメモする。	
	9・10	○書き留めた語や文を整理しながら、オリパラカードに大事な文を落とさないように要約文を書く。 ・大事な言葉や文を選び、言葉を補ったり書き換えたりしながら短い文章にまとめる。 ・大事な言葉かどうか、語句と語句のつながりなどに気を付けて意見交換する。	
3	1 1	○オリンピック・パラリンピックについて1・2年生に発表する。 ・オリパラカードを基に1・2年生にオリンピック・パラリンピックがどんなものなのかを伝える。	・より良い言葉を選んで、中心となる語や文を見付けて要約したり、進んで事典や図鑑などから情報を得たり説明したりしようとしている。 【主】
	1 2	○オリパラカードを紹介し、学習を振り返る。 ・自分がその部分を読んで、分かりやすいと思ったか②友だちがそれを読んで理解できるかを意識して振り返る。 ・生活の中で活かせるような場面を考える。	

言語活動・オリンピック・パラリンピックって何だろう? 1・2年生に伝えよう。

7 本時の目標

◎それぞれの要約文が適切かどうか観点ごとに話し合い、要約文を再考することができる。

8 本時の展開（4 / 12時間）

	主な学習活動 ・主な児童の反応	□発問・指示・切り返し ◆評価規準（評価方法） ☆支援を要する児童への手立て ○その他の働きかけ
導入 (4分)	1 目的を確認する。 ・「1・2年生にオリンピック・パラリンピックについて紹介する」です。  2. 本時の学習内容を確認する。 ・それぞれの要約文が適切かどうか話し合います。	□「単元のゴールは何ですか。」 ○予習で自分なりに要約した文章を書いてくる。  □「今日はどのようなことを考えますか。」 ○単元計画を確認する。
展開 (36分)	3 本時のめあてと本時のゴールのイメージを共有する。【全体】(4分)  ポイントにそって要約文が一・二年生にとって分かりやすいかどうか考えよう。	
	4 要約のポイントに沿って交流をし、聞いた意見をもとに自分の考えを広げる。 交流(15分) ・競技の説明が長くなっているから、短い言葉にしたらいと思う。 ・1・2年生には難しい言葉があるから簡単な言葉に変えたらいいと思う。  5 話し合いから得た要約文の課題を全体で交流する。(10分) ・視覚障害者という言葉は難しいので、目の不自由な方という言葉に変えたらいいということが分かりました。 ・ボッチャの競技の説明が長くなっていましたので、目標球に近い方が勝ちという言葉を残して、他の言葉は削ることにしました。  6 交流で得た意見を基に、再度、要約文を書く。(7分)	□「ポイントに沿って要約文を読み、言葉が適切かどうかアドバイスを交流しましょう。」 ○交流の観点を示す。 もっと短く分かりやすい要約文にできないか話し合う。  ・大事な言葉が入っているか ・削れる言葉はないか ・分かりやすい(簡単な)言葉にできないか  ○必要に応じて資料に戻らせる。 ○まず同じグループの友だちから意見をもらい、その後別のグループからも意見をもらう。 ○まずは一通り意見を出させる。  ○他の文章でも汎用的に使える技術とするために、児童の挙げる例を一般化していく。  【思・判・表C(1)ウ】 ノート・観察 ・自分なりに要約文が書けているか確認 ・友だちの意見を参考に再考し、要約文を短く分かりやすい文章にできているか確認。
振り返り (5分)	7 変容を振り返る。(5分) ・話し合う前は分かりにくい言葉も使っていたけど、相手のことを考えたときに、分かりやすい言葉に入れ替えることが大切だと感じた。	○話し合いから考えたことや、友だちとの交流で広がり深まったりしたことについて書かせる。

9 評価規準

B 伝えたいことに合わせて大事な言葉をとらえ、受けた意見に対して自分の考えを持って要約している。

(ノート・発言)

・ボッチャは自分の持つ赤や青のボールを投げたり転がしたりして「ジャックボール」(目標球)という白色のボールにできるだけ近づけて得点を競い合います。相手のボールをはじくことができるので、冬のオリンピックのカーリングに似ています。

A 伝えたいことに合わせて大事な言葉など複数の観点から自分の課題をとらえ、受けた意見を基に要約文を書いている。

(ノート・発言)

・ボッチャは自分の持つ赤や青のボールを投げたり転がしたりして「ジャックボール」という白色のボールにできるだけ近づけた方の勝ちです。

10 板書計画

